

平成19年度 事務事業評価表	担当	都市開発部 都市計画課	内線等	1333
事務事業名	鉄道高架側道側壁関連整備事業		事業コード	3. 建設事業(ハード事業)
根拠法令等	土地収用法、道路法、河川法等		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	鉄道高架
------	--------------------	-----	------

事務事業の内容

対象(受益者)	鉄道高架の関連事業して
手 段	体系的な交通網を整備することによって
想定する成果	市街地の一体的な発展を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
主な事業内容	用地測量等委託 1,249千円	用地測量等委託 2,829千円	用地測量等委託 9,350千円
	用地買収 720.65㎡ 54,349千円	舗装整備工事外15件 15,306千円	道路整備工事5路線外 81,000千円
	物件補償 3件 55,532千円		用地買収 540㎡外 19,160千円

成果指標

成果指標名	事業進捗率
成果指標の説明	累積実績事業費 / 総事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		44.34%				46.13%				56.51%			
成果指標													
事業費	事業費	112,951				19,058				110,000			
	人件費	14,011				13,277				11,768			
	(人数)	正規	1.8	非常勤	0.0	正規	1.7	非常勤	0.0	正規	1.5	非常勤	0.0
	合計	126,962				32,335				121,768			
財源内訳	国									61,260			
	県												
	市債									20,700			
	その他												
	一般財源	126,962				32,335				39,808			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	1	未買収者1件を除き、土地所有者及びJRとの用地交渉はほぼ協議が整ったが、名鉄との用地交渉が当市の都合で遅れている。
経済効率性	2	2	2	2	工事施工の可能な道路は整備を進めており、予算に見合った成果はあげている。
事務効率性	2	2	2	2	土地所有者、鉄道事業者及び愛知県等の各関係機関との用地交渉・協議、工事の進捗等予算に見合った成果はあげている。
必要性	3	3	3	3	交差道路により市街地の南北の分断が解消でき、側道整備により東西の通行も便利になっている。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	市街地の一体的な発展が図られることにより『まちづくり』に大きく貢献できるのではないかと。
合計	11	9	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	計画された道路の整備は進んでおり、予算に見合った成果はあげている。
------	---	---	---	---	-----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
土地所有者に対し、さらに積極的に交渉を進めるとともに各関係機関の協力を求める。 計画総事業費1,249,176千円に対し、平成16年度の進捗率は28.5%である。計画最終年度である平成30年度完了を目指して事業を進捗させたい。
上記改善点の実施状況
土地所有者の理解、各関係機関の協力を得て交渉未成立は残り1件となった。 総事業費に対し、平成19年度の進捗率は46.13%である。計画最終年度である平成30年度完了目指して現在、工事施工が可能な道路については整備が進んでいる。

今後さらに改善すべき点

鉄道事業者との用地処理を進めるとともに、交渉未成立用地の買収を早期に行い、道路整備・供用開始につなげたい。

平成21年度予算に反映する項目

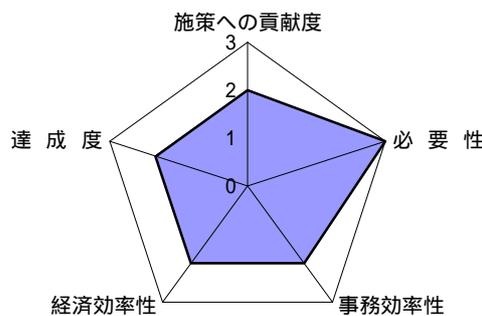
市道港町30号線をはじめとする関連側道を一刻も早く整備するための予算を確保する。

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点